

近代文学研究叢書

第五十九卷

昭和女子大学

近代文化研究所

近代文学研究叢書

第五十九卷

昭和61年11月5日 初版印刷発行

〔定価 6,000円〕

著者	昭和女子大学近代文学研究室
発行者	加藤 地三
印刷所	大文堂印刷株式会社
発行所	昭和女子大学近代文化研究所 東京都世田谷区太子堂一―七 振替口座東京四―一七〇八六七 電話 (四二) 五一三一 番 (代)

近代文学研究叢書



渡邊水巴
(1882・6・16～1946・8・13)



桑木嚴翼
(1874・6・25～1946・12・15)



茅野雅子
(1880・5・6～1946・9・2)



福士幸次郎
(1889・11・5～1946・10・11)

59
卷



加藤介春
(1885・5・16～1946・12・18)

渡邊水巴



句碑 (千葉県・鹿野山)

(渡辺恭子氏蔵)



筆跡

曲水



曲水 24卷6号
昭和14年6月

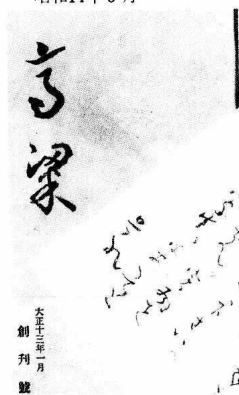


曲水 創刊号
大正5年10月

(渡辺恭子氏蔵)

俳諧草紙

俳諧草紙 第一号
明治39年5月5日



高梁 大正13年1月

句集 白日

渡邊水巴 著

交響社發行

(本扉)

「句集 白日」 昭和11年7月刊



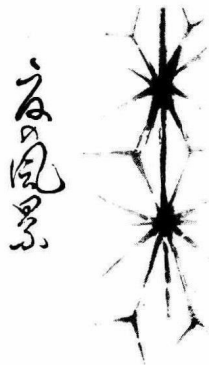
渡邊水巴著
句集
白日

交響社發行

—渡辺恭子氏蔵—



「雨傘」昭和16年2月刊

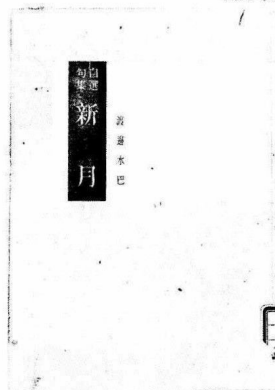


「夏の風景」昭和15年8月刊

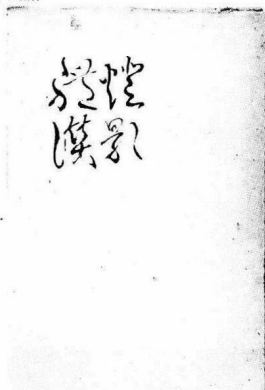
—渡辺恭子氏蔵—



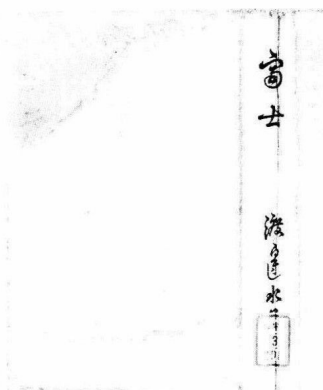
「隈笹」昭和10年2月刊



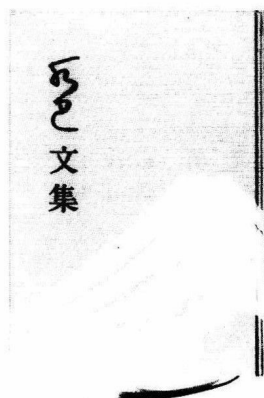
「新月」昭和22年4月刊



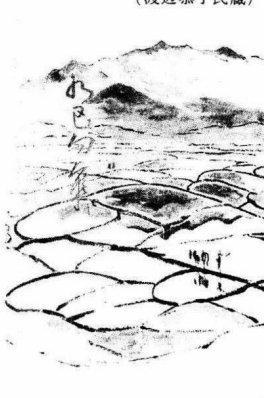
「燈影礼讃」昭和20年2月刊
(渡辺恭子氏蔵)



「富士」昭和18年10月刊



「水巴文集」
昭和59年11月刊



「水巴句集」
昭和31年10月刊

妹

渡邊水巴著

青
松
社

「妹」
昭和23年2月刊

—掲載書籍 昭和女子大学蔵—

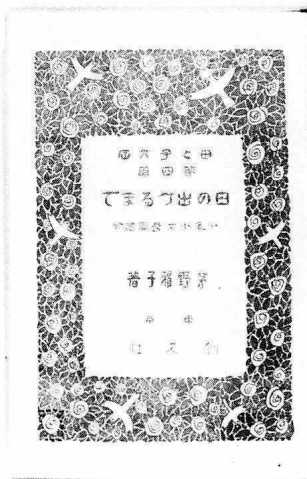
茅
野
雅
子



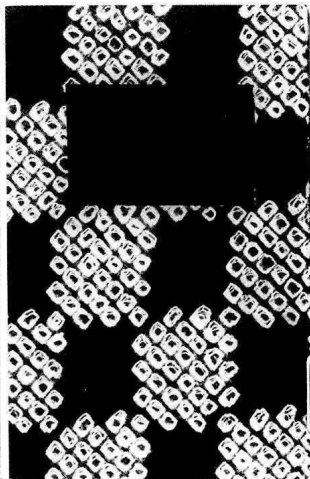
看
板

(鬼頭清明氏蔵)

- (上) 生家(戦前の面影・大阪市東大組第十四区
道修町1-42番屋敷)
(下) 現在の同所(大阪市東区道修町1-12番地)



「日の出づるまで」
大正10年9月刊



「金沙集」
大正6年1月刊

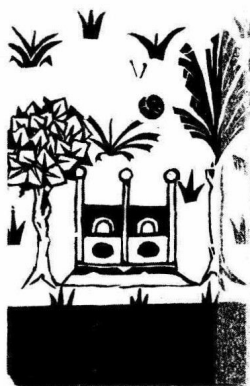


「恋衣」
明治38年1月刊

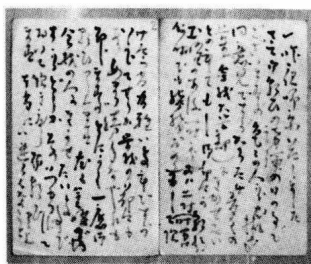
鬱金草



「鬱金草」
大正4年5月刊



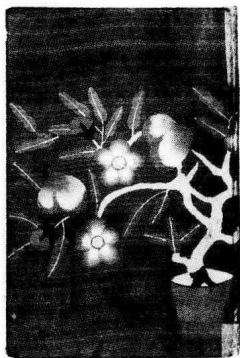
「湖畔の夏」青鞥小説集第一
大正2年2月刊



筆跡



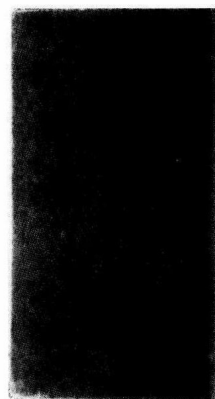
「若芽」ざつさう
昭和2年3月刊



「現代婦人詩歌選集」
大正10年5月刊



「春草会詠草」淑女画報
大正7年5月号



「蕭々雅子遺稿抄」
昭和31年11月刊

蕭々雅子遺稿抄

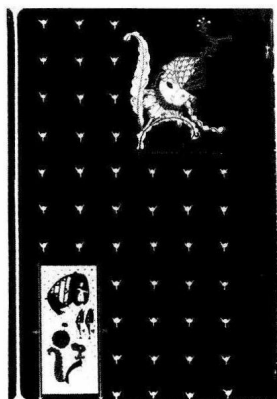
文庫
051
40

朝の果實

子種野芽
著

岩波書店刊

「朝の果実」
昭和13年11月刊



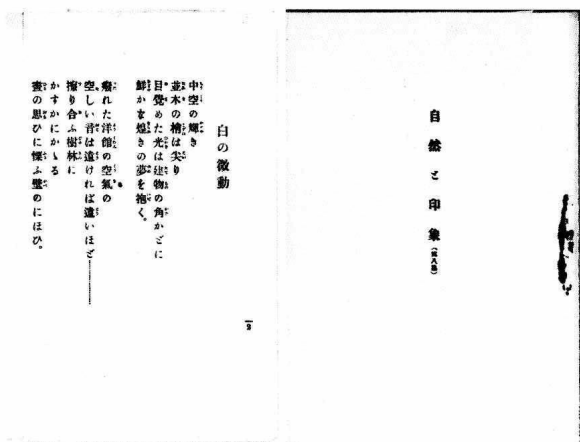
「天にのぼつた月」
日本童話選集
昭和2年12月刊

福士幸次郎

弘前市立図書館蔵

(弘前市立図書館蔵)

筆跡



「白の微動」

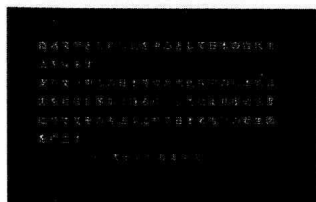
自然と印象 明治42年12月

(矢野峰人氏藏)

原日本考

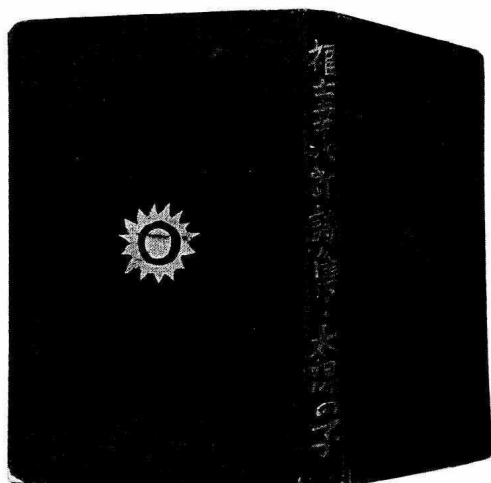
古代日本と鐵の文化

福士幸次郎著



「原日本考」

昭和17年5月刊

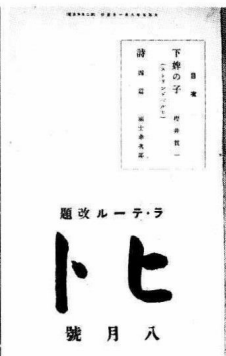


「太陽の子」大正3年4月刊

(小山内時雄氏藏)



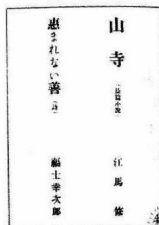
「展望」
大正9年6月刊



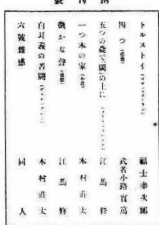
ヒト (ラ・テール改題)
大正5年8月

LA TERRE LA TERRE

(ル・テール) 特別號



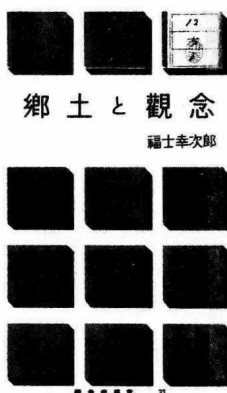
ラ・テール 特集号
大正5年2月



ラ・テール 創刊号
大正4年11月

福士幸次郎先生原稿本考査之地

愛知県尾西市善福寺の「原日本考」記念碑拓本



「郷土と觀念」
昭和17年10月刊



「社會主義と文學」 大正13年
5月刊 (小山内時雄氏蔵)



「城主」
大正11年6月刊



「福士幸次郎著作集」上下
昭和42年3月刊

福士幸次郎素描



「福士幸次郎素描」
昭和30年11月刊



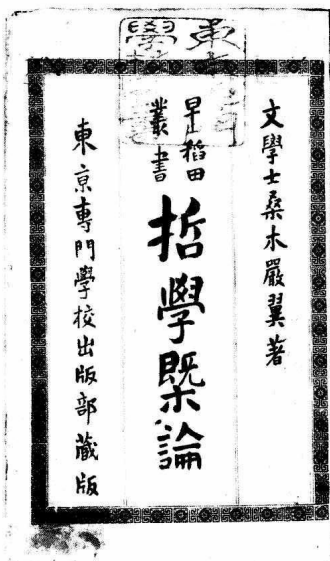
福士幸次郎著

「原日本考」続篇
昭和18年9月刊

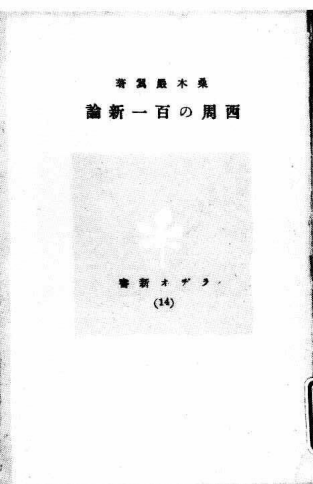
桑木嚴翼



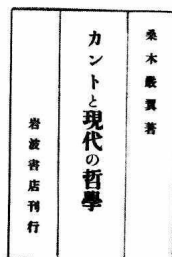
遺宅（茅ヶ崎市東海岸南）



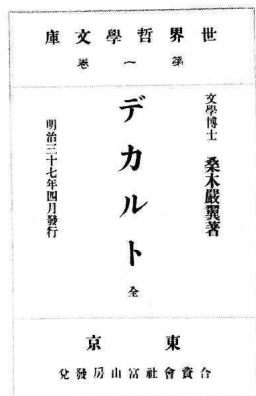
「哲学概論」
明治33年12月刊
（早稲田大学蔵）



「西の百一新論」
昭和15年5月刊



「カントと現代の哲学」
大正6年11月刊
（早稲田大学蔵）



「デカルト」
明治37年4月刊

哲學五流辨及其他

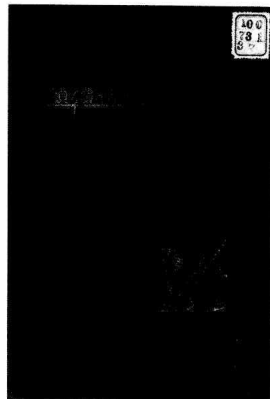
「哲學五流弁及其他」
大正5年9月刊

五大哲學者

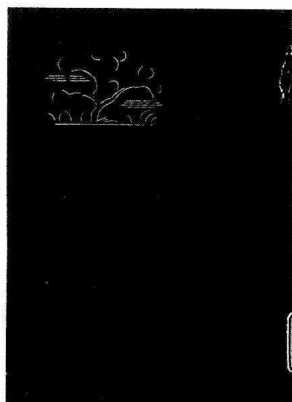
東京 金尾文湖堂

文學博士 桑木嚴翼著

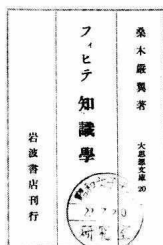
「五大哲學者」
大正3年3月刊



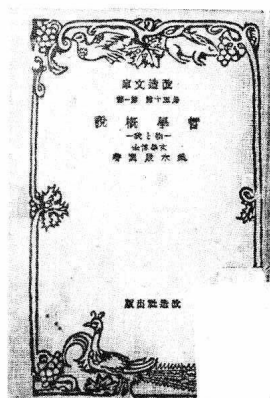
「現代の価値」
大正2年4月刊



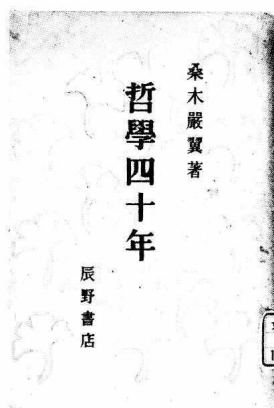
「哲学と文学との間」
昭和11年4月刊



「フィヒテ知識学」
昭和10年6月刊



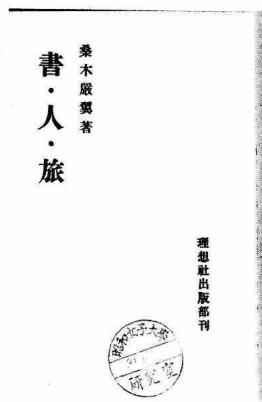
「哲学概説」一物と我—
昭和5年3月刊



「哲学四十年」
昭和22年10月刊



「明治の哲学界」
昭和18年3月刊

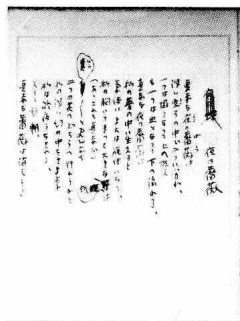


「書・人・旅」
昭和14年4月刊

加藤 介 春



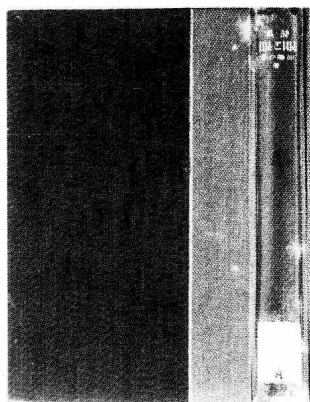
未刊詩集「夕焼」(大7)
「斧」(昭7),「空間の變形」(昭9)
「金」(昭15),「(無題)」(昭21)
未刊句集 (加藤敏二氏蔵)



未刊詩集「夕焼」
(加藤敏二氏蔵)



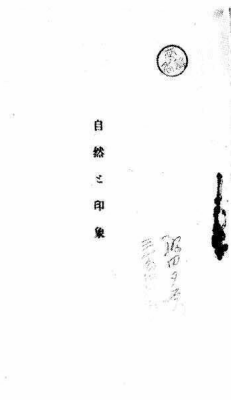
「万葉集研究ノート」
(加藤敏二氏蔵)



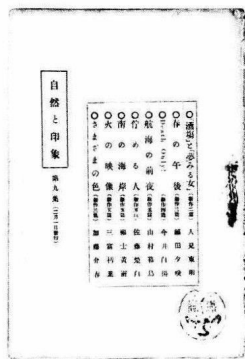
「眼と眼」
大正15年1月刊



「獄中哀歌」
大正3年3月刊



自然と印象 創刊号
明治42年5月
(矢野峰人氏蔵)



自然と印象
明治43年2月
(矢野峰人氏蔵)



「汗」 早稲田文学
明治40年3月



「死人」 新声
明治39年11月



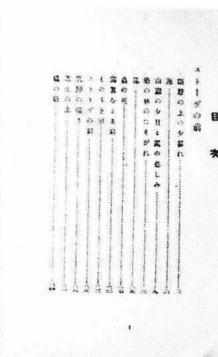
白鳩 創刊号
明治38年11月



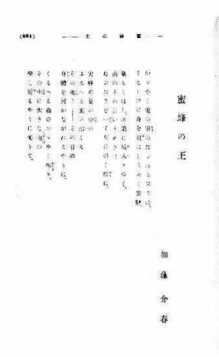
「癡癡病院」
昭和4年5月



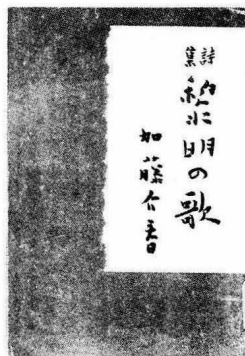
「癡癡病院」
昭和3年10月



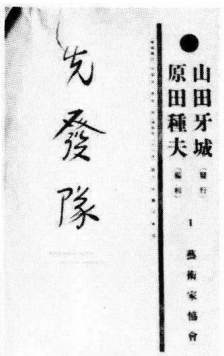
「梢を仰ぎて」
大正4年2月刊
(加藤敬二氏蔵)



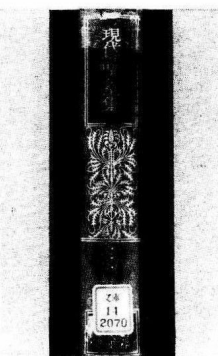
「蜜蜂の王」 早稲田文学
大正2年1月



「黎明の歌」
昭和18年10月刊



先発隊 (題字 加藤介春)
昭和6年5月創刊
(山田牙城氏蔵)

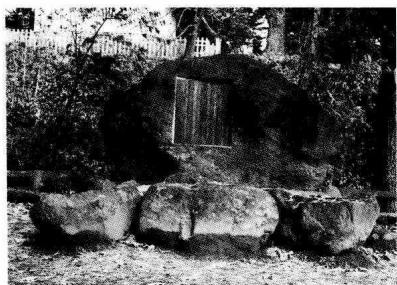


「現代詩人全集」第七巻
昭和5年2月刊

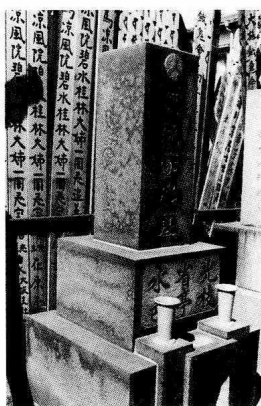


「九州詩集」1929版
昭和4年8月刊

遺跡をたずねて



富士幸次郎詩碑
(青森県弘前城内)



渡邊水巴墓所
潮江院 (東京都)



加藤介春生家 (福岡県田川郡赤池町)



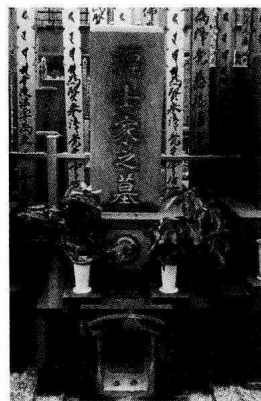
茅野雅子墓所
雑司ヶ谷霊園 (東京都)



加藤介春墓所
(福岡県田川郡)



桑木巖翼墓所
真浄寺 (東京都)



富士幸次郎墓所
双樹寺 (東京都)

目次

口 絵		一
『近代文学研究叢書』の成立		四
凡 例		七
渡 邊 水 巴		元
茅 野 雅 子		一五
福 士 幸次郎		二五
桑 木 嚴 翼		三二
加 藤 介 春		四九
PERSONALITY PROFILES		五六
卷末付記・正誤表		五八
第五十八卷年表補遺		五九
索 引		五九

『近代文学研究叢書』の成立

『近代文学研究叢書』は昭和三十一年一月、昭和女子大学光葉会からその第一巻が発行された。以来、明治期全十二冊、大正期全十三冊、昭和期が本巻を加えて三十四冊を刊行、続刊中である。

本叢書は、創立者人見圓吉（東明）が建学の精神に基づき優れた研究者の養成を目的とし、これによって文学日本の近代相がいささかでも究明出来ればという強い願望により創められたもので、本学学生による近世の国文学者、洋学者についての研究調査をまとめた『文学遺跡巡礼』（昭和十三年十月、第一輯発行）が母胎となっている。

昭和二十年、戦争も末期に近づいた四月の大空襲により、本学は校舎とともに蔵書と未発表原稿の一切を焼失した。青年時代、三木露風、野口雨情らとともに早稲田詩社をおこして活躍したかつての詩人東明は、この時から明治の詩書をはじめ近代文学関係の文学書の蒐集にとりかかり、現在の近代文庫の基礎が固められた。神田の古書展では「文学書の値をつり上げる」という評判が立つほどの蒐集ぶりで、こうして蒐められた典籍をもとに近代の文学者、思想家約八百名の伝記、業績に関する資料文献の老大なカードの作成には日本文学系の学生が総動員され、『近代文学研究叢書』の基礎的資料の基盤が築かれたのである。なお、母胎となった『文学遺跡巡礼』はその名の示す通り、生涯と業績に加えて遺跡の实地踏査、遺族の訪問記を特色としたが、本叢